

# 美波の海を見つめた

## 田井縄文人

現在建設中の高規格道路も、先年、由岐―日和佐間が一部開通しました。この道路の着工前の二〇〇二年、約六千年前の縄文遺跡が田井地区で発見されました。そこからは道具を作った工房跡や土器の破片、石斧、石匙、耳飾りなど三万余点が出土しました。その多くが現地では調達できない素材であるため、海上をルートとした交流が当時から発達していたのだと、新聞紙上を賑わしました。

出土品は徳島県埋蔵文化財センターで詳細に調査されて、先ほど「報告書」として刊行されました。少し読んだだけでも、田井縄文人の海上交流の活発さに改めて驚いております。それは出土品が中部東海、紀州紀の川、紀州広川町鷹島、九州北部、さらに岡山など、多方面から田井に集まっています。その出土品の中には、全国的に珍しく貴重とされる遺物も見られます。

海に開かれた日本列島をみる時、狩猟や山野に生活を置く一方で、それとは異なった海洋を中心とした文化が存在していたことを私たちは見落としてはいけないのではないかと。

私には昔に読んだ柳田国男の「古く縄文時代からの黒潮文化北上説」。その説を受けて生まれたのが藤村の「遠き島より」と唄われる「椰子の実」であるとの一文がいつも印象にありました。美波町もまさに黒潮交流圏内にあり、大海原の太平洋も恐れず、海をめぐる生産と交流の中で営々と生きてきたのです。そんな気概が美波町のよって立つ基盤を成しているのだと認識したい気持ちになります。

田井遺跡保存・活用検討協議会では、こんなイメージを念頭に活動を進めていくつもりです。まず報告書が出されたのを機に「田井」の姿が平易に理解ができるようにと、埋文センターのお力を得て「読本」の製作を考えております。また、十二月十二日には日和佐中学校と由岐公民館で別記のように日本的に著名な岡村道雄氏をお招きして講演会を開催します。

これからも、特に、町内の児童生徒さんに貴重な遺産を通して、私たちの町「美波」に、より一層のロマンと愛着を抱いてもらえるような活動を考えております。そして、強いては「小さくともキラリと光る」文化的な町づくりにも少しも寄与することができればと願っております。

田井遺跡保存・活用検討協議会

会長 宮内 薫

## 田井遺跡講演会

講師 岡村道雄さん

奈良文化財研究所名誉研究員ほか

演題 『田井・祖先の暮らしぶり』

開催日 平成二十年十二月十二日(金)

※午前の講演時間 午前十一時～正午

○場所 日和佐中学校 体育館

※一般の方も聴講できます

※午後の講演時間 午後二時～三時三十分

○場所 由岐公民館 二階 大会議室

## 第60回 人権週間

12月10日は「人権デー」です。12月4日から10日までは「第60回人権週間」とし、徳島地方法務局と徳島県人権擁護委員連合会では人権週間に下記の事項を強調して各種の啓発活動を実施することとしています。

- 「育てよう一人一人の人権意識」  
- 思いやりの心・かけがえのない命を大切に -
- 女性の人権を守ろう
- 子どもの人権を守ろう
- 高齢者の大切にされる心を育てよう
- 障害のある人の完全参加と平等を実現しよう
- 部落差別をなくそう
- アイヌの人々に対する理解を深めよう
- 外国人の人権を尊重しよう
- HIV感染者やハンセン病患者等に対する偏見をなくそう
- 刑を終えて出所した人に対する偏見をなくそう
- 犯罪被害者とその家族の人権に配慮しよう
- インターネットを悪用した人権侵害は止めよう
- 性的思考を理由とする差別をなくそう
- ホームレスに対する偏見をなくそう
- 性同一性障害を理由とする差別をなくそう
- 北朝鮮当局による人権侵害問題に対する認識を深めよう
- 人身取引をなくそう

お互いに相手の人権を尊重し、一人一人が人権について改めて考えて、豊かな人間関係を作りましょう。

12月5日は、日和佐公民館で人権相談を行いますので、人権についての悩み事等がある方は、人権擁護委員にご相談ください。また、当日は、啓発用パンフレット等の配布も行います。